

2026 年 10 月 8 日

株式会社ゼンリン

金融機関の担保評価・融資事前調査業務の効率化を支援する 「ZENRIN Maps Studio」を FIT2026 で紹介

株式会社ゼンリン（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：竹川道郎、以下ゼンリン）は、2026年10月15日（木）から10月16日（金）まで、東京国際フォーラムで開催される金融国際情報技術展「FIT2026」に出展します。本展示会ではセミオーダー型の業務支援クラウドサービス「ZENRIN Maps Studio」を紹介し、地図情報を活用した金融業界の業務効率化を提案します。

ZENRIN Maps Studio

営業先の確認から
担保評価に必要な情報を、
地図上でまとめて確認。

事前審査・ターゲティングの

初動を
早く評価を
正確に属人化を
減らす

初期費用 **0** 円～ | 最短 **5** 営業日で利用開始

住宅地図 × 用途地域 ×
ブルーマップ（地番） × 路線価
をワンストップで。



■ 出展概要：「ZENRIN Maps Studio」

地方銀行、信用金庫、信用保証協会などでは、担保評価や融資事前調査にあたり、住宅地図、地番、路線価、用途地域、登記情報など、複数の情報を確認する必要があります。情報収集・照合から書類作成までには多くの時間を要するほか、地図帳の定期的な更新・管理も負担となっており、こうした課題を背景に、調査業務の効率化と情報収集の負担軽減が求められています。

ゼンリンはこれまで、住宅地図帳やブルーマップなどを通じて金融業界の業務を支援してきました。また、豊富な地理空間情報を基盤に、各種統計データや外部データを組み合わせ、各業種・業務向けに多様なソリューションを提供しています。

業務に必要な機能やコンテンツを組み合わせることで利用できるセミオーダー型のクラウドサービス「ZENRIN Maps Studio」では、金融業界における担保物件の事前調査業務に必要な情報を地図上で一元的に確認できるほか、必要な地図を印刷することも可能です。事前調査や資料作成の負荷を軽減し、担当者を問わず、一定のスピードと品質で資料を作成できる環境づくりを支援し、金融機関の業務 DX と、迅速な業務対応の実現に貢献します。

「FIT2026」では、「ZENRIN Maps Studio」を活用した担保物件の事前調査業務を、デモンストレーションを通じて紹介します。物件、地番、路線価、用途地域などの確認を、クラウドサービス上でまとめて行う操作イメージを体験いただけます。



▲住宅ローン審査における担保評価・事前調査業務の流れ(STEP1～STEP5)と「ZENRIN Maps Studio」の活用イメージ

■セミナー概要:【北洋銀行様ご登壇】融資スピードを変える担保調査 DX—地図情報活用の実践—

「FIT2026」では、実際に「ZENRIN Maps Studio」を活用いただいている株式会社北洋銀行のご担当者を招いたセミナーを実施します。担保評価・融資事前調査業務における課題と、地図情報を活用した業務改革の取り組みを紹介します。

※参考:北洋銀行様 導入事例: <https://www.zenrin.co.jp/product/casestudy/example/mapsstudio/hokuyo-bank/index.html>

タイトル	融資スピードを変える担保調査 DX—地図情報活用の実践—
時間	10月16日(金)10:10～10:40
会場	東京国際フォーラム ホール D5
登壇者	・株式会社ゼンリン エリアソリューション本部 エリア戦略部 部長 手嶋 侑斗 ・株式会社北洋銀行 リテール推進部 ローン企画室 主任調査役 鈴木 琢様

■出展概要

展示会名	FIT2026 金融国際情報技術展 URL: https://fitinfo.nikken.co.jp/event/fit/
開催時期	2026年10月15日(木)～10月16日(金)
会場	東京国際フォーラム(東京都千代田区丸の内3丁目5番1号) アクセス: https://www.t-i-forum.co.jp/
ブース位置	EA62

※参考:ZENRIN Maps Studio 商品ページ

<https://www.zenrin.co.jp/product/category/appservice/mapsstudio/index.html>